



愛知・名古屋2026大会ボランティアに関する最新情報などを月1～2回お届けします！
大会のことをより理解し、皆様同士のつながりが深まるきっかけになれば嬉しいです。

Topic
01

今月のピックアップ情報！

アジア大会開幕まで約150日！メイン会場視察イベント！



大会開幕150日前にちなみ、「150」の文字を作りました

4月23日、Aichi-Nagoya2026大会のメイン会場となる瑞穂陸上競技場（パロマ瑞穂スタジアム）にて、ONE ASIA CREWを対象とした会場視察イベントを開催しました。当日は50名の皆さんにご参加いただき、応募は約1000名にのぼるなど、平日の開催にもかかわらず多くの関心をお寄せいただきました。視察では、VIPルームをはじめ、普段はなかなか見ることのできない諸室や競技場の裏側をご見学いただきました。あいにくの雨模様ではありましたが、終始和やかな雰囲気の中で、熱心に質問をされたり、部屋の雰囲気や設備を実際に感じながら見学されている様子が印象的でした。新しい競技場を五感で体感しながら、活動のイメージを膨らませているONE ASIA CREWの皆さんの姿を見ることができ、私たちにとっても大変嬉しい機会となりました。大会開催まで150日を切り、役割別研修も始まる中で、今回の視察は本番に向けた意識をさらに高める貴重な機会となりました。今後も皆さんとともに準備を進めていけることを楽しみにしています。

Topic
02写真で振り返る
視察ツアー

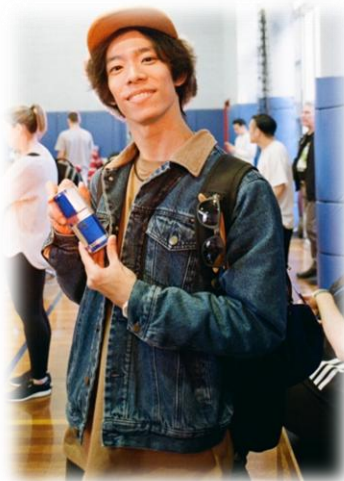
瑞穂陸上競技場視察イベントの様子をこちらでも紹介します！

Topic
03ボランティアインタビュー
岩田 裕貴さん

今回は、岩田裕貴さんをご紹介します。応募のきっかけは、「地元・愛知県でこのような素晴らしい大会が開催されること、そして自身もブレイクダンサーとして活動していることから、ぜひ大会に携わってみたいと思った」とのこと。競技に関わる立場だからこそ感じる魅力が、今回の挑戦につながりました。岩田さんは、10年以上ブレイクダンスを続けており、その経験から大会への向き合い方にも独自の視点を持っています。「大会は勝ち負けに注目が集まりがち



ですが、本当に大切なのは選手一人ひとりの「カッコ良さ」が多くの人に伝わることだと感じています」。競技の本質を理解しているからこそ、「たとえ結果が伴わなくても、その魅力が伝われば選手にとって意味のあるものになるはず」と語ります。そうした想いを胸に、「選手それぞれのカッコ良さが最大限発揮できるよう、精一杯サポートしていきたい」と、大会への意気込みを示してくれました。大会本番に向けては、機運醸成にも積極的に取り組んでいただいています。「まだ大会の開催を知らない方も多いと感じています」と、周囲に向けて情報発信を行うなど、自らできる形で大会の魅力を広く発信されているとのこと。また「オリンピック、WBCの次はアジア大会！本番を迎えるまでの時間も楽しみましょう。一緒に貴重な時間を楽しく共有できたらと思います。」



とONE ASIA CREWの皆さんにもメッセージをいただきました。競技を愛する一人として、そして大会を支えるボランティア「ONE ASIA CREW」として。その両方の視点を持つ岩田さんの存在は、大会をより魅力的なものにして大会成功へ導いていただけるでしょう。